

同窓生のための会報誌

和敬会だより

第22号



「子どもの遊び」ピーテル・ブリューゲル（父）／大船キャンパスのコミュニティーモールに展示

鎌倉女子大学和敬会

〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420

☎0467-44-2111

和敬会HP <http://www.wakeikai.net/>

鎌倉女子大学

検索



岩瀬キャンパス中・高等部新校舎に 盛りつける新しいコース制

理事長 福井 一光

2021年度の完成に向けて中
等部・高等部の新校舎が建設される
ことは、2018年度の「和敬会だ
より」でお知らせしましたが、いよ
いよこの2月11日、建国記念の日、
起工式が行われることになりました。
現在の技術の進歩は目覚ましい
ものがあり、来年には総合グラウン
ドに4階建ての新校舎が建ち上がり
ます。1階から4階にかけてのテラ
ス、ラーニングcommons、図書館の
全面ガラス張りの室内からは、校歌
にも謳われている富士山の大きな姿
を望むことができるでしょう。

『聖書』にある「新しい葡萄酒は
新しい革袋に」の喩えのように、こ
の新校舎で2020年4月入学生よ
り鎌倉女子大学中等部・高等部では
6年間一貫した「国際教養コース」
と「プログラミングコース（進学コース）」
がスタートします。

詳しくは、「和敬会だより」本号
の高橋正尚初等・中等統括部長の記
事をご参照ください。

鎌倉女子大学中等部・高等部は、
いっそうバージョンアップした教育



総合グラウンドから望む富士山

プログラムを提供してまいりますの
で、卒業生の皆さまも是非期待して
頂き、第2世代、第3世代をまます
すもってお送り下さいますようお願い
申し上げます。



魅力ある和敬会活動を目指して

会長 深山 喜美子

令和二年の春を迎えました。会員の皆様
におかれましては、ご健勝にてお過ごし
のことと存じます。日頃から和敬会活動にご
理解とご協力をいただき感謝申し上げます。
昨年度、台風等自然災害の被害に見舞わ
れた会員の皆様、首里城の火災で心を痛め
られた皆様方には、心よりお見舞い申し上
げます。

私は、昨年地方支部の集いに参加させて
いただく機会に恵まれました。関西支部、
中国・四国支部、北海道支部、九州支部の
会員の皆様とお会いしました。これまでの
支部の歩みや支部の活動、支部の悩み等
をお聞きました。会員の皆様の近況をお聞
きすると、新しいことを始めるには年齢は
関係ないこと、好奇心を持ち続けることが
健康の秘訣だということも教えていただき
ました。素敵な先輩方にお会いできて元氣
をいただきました。支部長さんはじめ会員
の皆様が、会員の絆を深めるために支部会
のあり方を模索してくださる姿に感謝の言
葉しかありません。各支部の活動をもっと
紹介して共有したいものです。加えて、関
東支部立ち上げに向けて準備会が発足しま
した。これまでの地方支部の活動を参考に
しながら進めております。

しかし、地方支部の悩みとして支部の会
員の所在がつかめないことや新しい会員が
増えないことなどがあります。他の支部で

は、一緒に支部会の運営に協力してくださ
る方が見つからないという悩みもありま
した。ぜひ、会員の皆様のご協力をお願い
いたします。和敬会本部と地方支部が連携し
て卒業生の所在を確認し、会員の輪を広げ、
「チーム和敬会」として絆を深めていき
たいと思います。魅力ある和敬会活動になる
よう、会員の皆様の御意見をぜひお聞かせ
ください。

学園主松本紀子先生のお言葉（岩瀬キャン
パスへの想い）によれば、「よい学校とは、
在学生が喜びと満足感をもって通学するこ
と、卒業生が母校に誇りと愛情をもつこと」と
述べられています。私たち卒業生は、昭
和から平成、令和の時代になっても、鎌倉
の地で学んだ同窓生として強い絆で結ばれ
ています。和敬会は、母校への思いを共有
しながら、会員同士のつながりを深め、母
校と同窓生をつなぐ役割があります。先輩
方が築いてこられた和敬会の歴史に、新た
なページを一緒に作ってまいります。

最後になりますが、母校は「80周年記念
事業」として、岩瀬キャンパスの総合的な
再整備が始まり学園が大きく変わろうとし
ています。新しい学びの環境の中で後輩た
ちが成長し、新たな歴史を作ってくれるこ
とを楽しみにしております。引き続き応援
してまいります。今年度も、和敬会活
動へのご協力をよろしくお願いいたします。

岩瀬キャンパスへの想い

学園主 松本 紀子

私共一家が横浜から鎌倉に居を移したのは、昭和28年4月1日、よく晴れた日のことで、磯子の山から明仁皇太子がエリザベス女王の戴冠式に出席されるため洋行するお召艦が沖合いに見えたものです。

鎌倉女子大学前の交差点もまだ荷車が行き交い、時たま車が通ると土ほこりが立つような時代でした。

主人は、『学園こそわが命』に当時の苦労をこう記しています。終戦直後の学校の土地の広さは、二万平



方メートルぐらいであった。その時は、広さはそれで十分過ぎるほどだった。だが、将来ということを考えて、このままではいけないと。そこで、目をつけたのが、学校の前の広い土地だ。そう考えて、私は岩瀬、今泉一帯の地主を訪ね歩いた。

「どうか、あの土地を学校に譲ってほしいのです」というと、「学校といっても、どの何べいか分からない人たちだ」と突っけんどんに言い返される。何しろ、その時は、岩をも通すの一念で、地主の元に五回、十回、甚だしきは、夜討ち朝がけで十回でも二十回でも…。そしてついに「先生の根性には負けました」という言葉をもらうに至った。

あれから66年経って、福井一光理事長が創立100年を見据えながら「80周年記念事業」として岩瀬キャンパスの総合的な再整備を考えて下さり、喜びこれに優るものはありません。計画の概要については、福井理事長が「和敬会だより」(第20号)に書いて下さった通りです。この2月11日の私の96回目の誕生日に安全

祈願祭を執り行って下さるそう、私ももう少し生きていたいと切に願っているところでは。

同窓会は、学校と運命共同体、学祖が掲げた理想の下、学生・卒業生・教職員一体となり、それぞれ協力出来るようにして頂きたいと存じます。よい学校とは、在学生が喜びと満足感をもって通学すること、卒業生が母校に誇りと愛情をもつことだと思えます。毎年、和敬会では、みどり祭に卒業生が気楽に遊びに来れるようにと、大みどり祭はカンティーンで、岩瀬みどり祭はプール棟で「カフエ和敬会」を開いて下さっています。2020年度から岩瀬キャンパスのみどり祭も、幼・初・中・高等部一括合同の学園祭になると思いますので、卒業生の皆さんには大勢でお出で頂ければ、嬉しく思います。



シリーズ 人

鎌倉女子大学（京浜女子大学）の教員としての思い出



元鎌倉女子大学
短期大学部教授
降旗 節夫

私が京浜女子大学に奉職したのは昭和五十六年、松本尚先生が学長で、全学生数は千七百名ほどでした。学生は全員が女性、どうやって教鞭を執ろうかと困惑しましたが、黒の制服を着用した学生が礼儀正しく、教卓には「おしぼり」が用意され、時間通りに授業が開始できることに驚きました。いざ授業（化学）を開始すると、学生は清聴し、誤字もなく丁寧な文字でノートにまとめていました。その後は学生に寄り添った授業の展開に心がけ、接した学生数は一万五千人ほどだと思います。

心に残ることは学祖松本生太先生の「人生にぐるま論」と学父松本尚先生の「我のほか皆師」というお言葉です。松本生太先生のお言葉は以前に収録されたテープの肉声を松本尚先生の講義「建学の精神」でお聞きしました。これは私なりに二輪車である「荷車」の車輪を教職員と学生になぞらえ、互いに手を携え前進していくことと解釈しております。

最後になりましたが、OG諸師の皆様には、これからもご健勝で益々のご活躍をお祈り申し上げます。

学園の今

学びを支える多様な取組

学園では学生、生徒たちの学びと成長のため、様々な取組を行い卒業生の輝く実績へつながっています。



初等・中等
教育統括部長
高橋 正尚

中・高等部「国際教養コース」と「プログレスコース」の特色ある教育

グローバル化や情報化が進む21世紀は、幅広い知識、高い語学力、論理的な思考力・判断力・表現力等の資質・能力が求められます。このような時代背景を踏まえ、中・高等部は、2020年4月に「国際教養コース」と「プログレスコース」をスタートさせます。

「国際教養コース」は異文化に理解をもつ、世界に通用する真の国際人を育成することを目指します。教育課程としては、中等部・高等部ともに英語の時間を多く配置し、授業の進度も早くなります。中等部では3年生から高等学校の教育内容を先取りします。そのため6年間の教育内容を5年間で修了し、高等部3年生では大学受験に向けた応用的な学習を中心に行います。中等部の英語は『NEW TREASURE ENGLISH SERIES STAGE 1～3』、数学は「体系数学1・2」、社会は『世界地理』『現代社会』など、難易度の高い教材・教科書として使用します。

「プログレスコース」は、従来の「特進・進学コース」を踏襲したコースで、基礎的な知識や技能の定着を図り、さらにそれを伸ばし、鎌倉女子大学や難関私立大学への進学を目指します。教育課程は、国語・数学・英語の時間をバランスよく配置し、中等部での先取り学習をせず、6年間でじっくり教科書に沿って学びます。特に英語学習では、東京学芸大学名誉教授の金谷先生による『ラウンド式』を取り入れるなど、英語嫌いをなくす授業になっています。

また、2019年度実施の全国学力・学習状況調査の英語科目では、英語4

技能のうち中学3年生で「書く」「話す」の正答率が低いという結果が出ています。そのような状況を踏まえ、次のような体験的・実践的コースを設定いたします。

- 積極的にiPad等の情報機器を活用した英文の多読・多聴。
- 外国人講師とのマンツーマンでのオンライン英会話授業。
- 「TOKYO GLOBAL GATEWAY」の施設を利用し、英語でのFlight Attendantやホテルのフロント業務等を体験。
- 中等部3年生：カナダのトロントにて全員、ホームステイによる語学研修。
- 高等部2年生：アメリカ、ロサンゼルスでの研修旅行を実施。現地ハイスクールの高校生やUCLAの学生との英語交流、及びディズニーランドにて英語によるキャスト体験等。
- オーストラリア・ニュージーランドでのターム又は1年間の留学制度を設定。
- 第2外国語を学べる短期集中講座の実施。

以上のような教育活動を重視してまいります。

同窓生の皆様には、これらの教育活動にご理解賜り、引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

中・高等部の新しい教育

今年度より、中・高等部の部長として着任致しました。何卒、宜しくお願い致します。

私は着任してすぐに、学校を理解するために、各クラスの代表の生徒たちと面談を致しました。生徒たちは、自分たちの学校を誇りに思っていること、学校生活を楽しんでいること、そして、いくつかの課題などをとても素直に話してくれました。

限られた時間でしたが、この時の面談は、学校の現状把握と目指すべき学校の姿を描くために、大変貴重な経験となりました。

「なりたい自分を探せる学校」をモットーに、その後、様々な改革に着手致しました。勿論、生徒の意見をすべて叶えることはできませんが、新しい教育活動を企画する際の参考にさせていただきました。

6月の部長講話で、来年度から実施するある改革を発表したとき、期せずして生徒たちから拍手が起こりました。私が降壇する際にも、また、拍

手が起こりました。生徒たちが新しい学校改革の取組を理解し、賛同してくれた瞬間でした。私はこの学校に奉職している間、この時の気持ちを忘れないと思います。

さて、新しい教育活動の計画では、建学の精神に則った学校教育目標を設定し、その学校教育目標を具現化する方策として、「豊かな人間性」「21世紀型能力」を掲げました。また、それらの方策を実現するために、「心の教育プラン」「学力向上プラン」「キャリア教育プログラム」「ESD(持続可能な開発のための教育)プログラム」「英語教育・国際理解教育プログラム」の5つのプラン・プログラムを作成致しました。これらのプラン・プログラムは、従来から取り組んできたものですが、それらを整理し、各取組の目的を明らかにすることで、教員がベクトルを共有し、効率的、効果的に指導を行い、他の指導とのつながりを意識できるように致しました。以上のプラン・プログラム等をご理解いただき、和敬会の皆様には一層の温かいご支援を頂きたくお願い申し上げます。

ることこそ皆様の信頼に応えることだと考えています。

「5時間目の1年生」「授業の残り5分間」「全教科にバランスよく」これらは、初等部の授業を表すキーワードです。ともすると眠くなる昼休み後の5時間目、教師が澆刺と授業をし、1年生であっても活発に発言している姿、授業の残り5分間まで工夫された授業、そして、集中して取り組む初等部生の姿、初等部では、これらの姿を日常としたいと考えています。例えば、図工の時間に粘り強く作品を完成させることで得た自信は、算数の時間にも必ず生きてきます。どの子にも得意、不得意はあると思いますが、全教科に前向きに取り組むことにより培われる「主体的な学習態度」は、これから先の人生に必ずや役に立つことでしょう。

また「ていねいできめ細やかな授業」を実現するため、初等部では、「1年生のダブル担任制」をはじめ「複数教員制」「少人数制」「放課後講習」等、独自の取組が数多くあります。

和敬会の皆様方には、これまで同様、今後とも初等部へのご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



中高等部
部長
小藤 俊樹

初等部の特色、特色ある授業

～ていねいできめ細やかな授業、その積み重ねの先にある成長を求めて～

初等部では、建学の精神である「感謝と奉仕に生きる人づくり」を基盤に、「豊かな心」「確かな学力」「健やかなからだ」を身に付けた品位ある初等部生の育成をめざしています。また、この普遍的な教育理念を継承しつつ、初等部生一人一人がこれからの社会の変化に力強く向かっていける教育環境を整えていくこともわたしたちの使命と考えています。

その基盤となるのは、日々の1時間1時間の授業です。小学生の授業時間は、入学から卒業までの6年間でおよそ6000時間あります。その1時間1時間を初等部生にとって、いかに充実した授業としていくのか、これこそ初等部が最も大切にしていることです。授業は、学力の向上のみならず、こころやからだの成長にも大きな影響を与えます。初等部では、一人一人の初等部生に寄り添い、「ていねいできめ細やかな授業」を積み上げ



初等部
部長
勝木 茂

大学・短期大学部のキャリアサポート

学生のキャリアに合わせた2つのサポート体制

》教職センター

教員や保育士をめざす学生を対象に学科教員や他部所と連携を取りながらきめ細やかなサポートを行っています。

》就職センター

一般企業や公務員をめざす学生を対象にセンタースタッフ全員で学生をフォローし適切なアドバイスやサポートができるような体制を整えています。

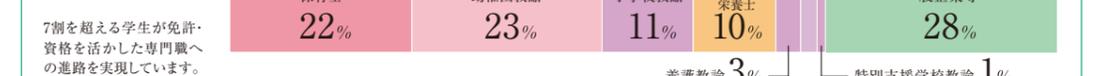
卒業生の輝く実績

学科別就職率 (2018年度卒業生)

【学部】実就職率=就職者数÷(卒業生数-大学院進学者数)×100 【初等教育学科】実就職率=就職者数÷(卒業生数-進学者数)×100 卒業生=2019年3月卒業生数+2015年4月入学者数(短大は2017年4月入学者数) 退学者=2018年度退学者数+2018年度在学学生数

家政学部 家政保健学科	家政学部 管理栄養学科	児童学部 児童学科	児童学部 子ども心理学科	教育学部 教育学科	短期大学部 初等教育学科
100%	100%	100%	98.3%	99.0%	98.6%
[実就職率] 92.9%	[実就職率] 99.2%	[実就職率] 99.5%	[実就職率] 98.3%	[実就職率] 95.1%	[実就職率] 95.3%
[卒業率] 94.8%	[卒業率] 97.7%	[卒業率] 96.4%	[卒業率] 93.4%	[卒業率] 95.7%	[卒業率] 97.9%
[退学者] 0.7%	[退学者] 0.6%	[退学者] 0.1%	[退学者] 1.1%	[退学者] 1.3%	[退学者] 0.8%
[卒業生数] 113名	[卒業生数] 128名	[卒業生数] 193名	[卒業生数] 60名	[卒業生数] 103名	[卒業生数] 237名

職業別就職率 (2018年度卒業生)



公立学校教員 採用試験合格者数 (現役・正規) (2018年度卒業生)

97名が現役合格

公務員採用試験 (幼稚園教諭・保育士)合格者数 (現役・正規) (2018年度卒業生)

37名が現役合格

第33回管理栄養士国家試験結果 (2019年実施)

合格率 99.2% 合格者数 117名
管理栄養士養成課程(新卒)の合格率 95.5%
受験者全体の合格率 60.4%

キャリアサポートガイドより。詳細はホームページを参照。

この資料は2020年度の入学生を対象に制作したものです。内容については2019年4月現在の情報です。

みどり祭 大短・中高・幼初

令和を彩れ！
私たちの笑顔で
第25回みどり祭の様子をお伝えします。



中高校舎とマーチングバンド



ハーブ体験



中高生によるワークショップ小物作り



弓道体験



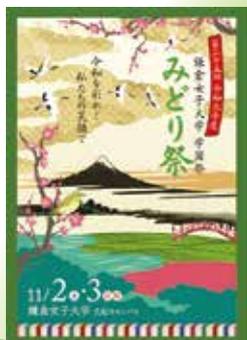
親子スポーツ大会ドッチビー



岩瀬キャンパスカフェ和敬会



大船キャンパスカフェ和敬会



参加型ムーブメント



模擬店



合唱団

2020年第26回みどり祭もお楽しみに！
11月7日(土)・8日(日) 大船キャンパス(大短)
11月14日(土)・15日(日) 岩瀬キャンパス(幼・初・中高)

健康で長寿県を目標に
同窓の絆を深めよう



昭和38年度
短期大学部初等教育科卒
伊藝 美智子

沖縄県は長寿の島として誇りをもち、食生活は腹八分の生活を維持してきました。

しかし昨今食生活が欧米化し、働き盛りの若者の「健康」が危ぶまれております。

今年度の沖縄支部のテーマは「健康」を特に意識して取り上げ、お互いの交流で出来ることから始めようという行動しております。鎌倉で培われた同窓生の絆は卒業後も強いつながりを持ち、それぞれの分野で活躍している人たちと、情報交換をし支部で共有を図っています。教育界では同窓生の管理職も増え、食の分野でも沖縄県のリーダー

として活躍している卒業生も多く頼もしい限りです。また、学校での平和学習講話や地域での合唱サークル等、同窓生にはそれぞれ得意分野で活動し、先輩・後輩ともに叱咤激励し合いながら、その場に応じた楽しい健康づくりをしております。

いよいよ鎌倉女子大学80周年に向け岩瀬キャンパスの改築が始まると伺っております。沖縄支部の皆様には、和敬会の支部の集まりや総会の内容を伝え、キャン

パスの計画概要をお伝えしているところですが、福井一光理事長の思いを沖縄支部として支援して参る所存です。



支部だより 次回 (第9回) は九州支部です

事務局からのお願い

和敬会の皆様には年1回「和敬会だより」をお送りしていますが、近年あて先不明による戻りが増えています。

次の事由が発生した場合は、和敬会事務局まで、書面(ハガキ、封書など)又はホームページからご連絡をお願いいたします。

- 住所の変更 ●住居表示の変更 ●氏名の変更

また、これらに該当する卒業生の情報をご存知の方は、皆様からお伝えいただけると幸いです。ご協力をよろしくお願いいたします。

連絡先

【あて先】 鎌倉女子大学和敬会事務局 【住所】 〒257-8511 神奈川県鎌倉市岩瀬1420番地 【ホームページ】 <http://www.wakeikai.net> 「名簿情報変更届」より入力してください。住所変更以外の電話対応につきましては、毎月第1、第3火曜日の10時~14時にご連絡ください。 【和敬会事務局電話番号】 050-1092-0473

平成30年度
和敬会収支決算書

収入の部

費目	金額
同窓会費	6,105,000
預金・利子	395,927
前年度繰越金	104,717,061
合計	111,217,988

支出の部

費目	金額
和敬会便り出版費	4,865,050
事業費	
支部費	939,452
ホームページ費	99,003
みどり祭	457,969
運営費	482,595
事務費	200,000
設備・備品費	4,622
通信・連絡費	132,096
消耗品費	179,563
和敬会館光熱費	120,000
慶弔費	—
総会費用	4,527,516
支出合計	12,007,866
繰越金	99,210,122
合計	111,217,988

上記の通り相違ないことを報告いたします。

令和元年5月31日

会計監査

丸山典子 (印)
鈴木百合子 (印)

地方支部・支部長

- 北海道支部 西野 幸子
- 東北支部 三浦 ゆか
- 甲信越支部 松井千津子
- 北陸支部 橋本 玲子
- 東海支部 ※支部の運営に協力していただける方は事務局までご連絡ください
- 関西支部 渡邊 昭子
- 中国・四国支部 櫻井 早苗
- 九州支部 吉田三知子
- 沖縄支部 伊藝美智子



令和元年8月25日
関東支部準備委員会発足
「校名石」にて



「二人の百歩より百人の一步」を指し、より多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。本支部を和気あいあいと愉しく和める会にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



「関東支部」立上げ準備委員会

代表 今福志保

「この指とおまれ！」

この度、関東支部立上げ準備委員会の代表となりました今福でございます。二人の百歩より百人の一步」を指し、より多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。本支部を和気あいあいと愉しく和める会にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



「京王プラザホテル札幌」にて

深山会長、望月副会長を迎え7月28日、15名の出席で開催されました。まず物故者への黙祷の後、前支部長の村川さんに、これまでの感謝をお伝えし、自己紹介やエピソードを伺いました。今回、初参加の方々もいらつしやり、年代は変わっていても同じ鎌倉の地で学んだ者同士として、懐かしく嬉しく同感でき今後へ繋がっていきそうなる、期待のもてる和やかで楽しい会となりました。

北海道支部同窓会開催

支部長 西野幸子

深山会長、望月副会長を迎え7月28日、15名の出席で開催されました。まず物故者への黙祷の後、前支部長の村川さんに、これまでの感謝をお伝えし、自己紹介やエピソードを伺いました。今回、初参加の方々もいらつしやり、年代は変わっていても同じ鎌倉の地で学んだ者同士として、懐かしく嬉しく同感でき今後へ繋がっていきそうなる、期待のもてる和やかで楽しい会となりました。



- ◆主催 中・高等部バスケットボール部
OG会会長 三角 恵美子
- ◆場所 横浜崎陽軒本店

- ◆開催日 2019年11月3日
- ◆出席者 83名



中・高等部バスケットボール部
創部60周年記念祝賀会

中国・四国支部は先輩方のご支援をいただきながらこれからも絆を深めます。



ご縁に感謝

中国・四国支部

支部長 櫻井早苗

公開講座

鎌倉女子大学生涯学習センターでは、生涯にわたり、学び、学習活動の場として公開講座を開催しています。卒業生の皆様もぜひ参加してみたいかがでしょうか。講座内容は鎌倉女子大学ホームページ「生涯学習センター」でご覧ください。



鎌倉女子大学

<http://www.kamakura-u.ac.jp>

大船 キャンパス	大学院	大学 家政学部 児童学部 教育学部	短期大学部
	〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号	TEL.0467-44-2111(代表)	JR[大船駅]下車、徒歩8分
岩瀬 キャンパス	高等部	中等部	初等部 幼稚部
	〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420	TEL.0467-44-2200(代表)	JR[大船駅]下車、バス約10分

お見舞

「令和」最初の年となりました。

大きな災害をもたらした台風15号19号、甚大な被害を受けた和敬会会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

・10月31日未明に発生した火災により沖縄県民のシンボルである首里城が焼失しました。

和敬会では、大学みどり祭で募金活動を行い、11月8日に那覇市「首里城火災に対する支援金活動事務局」へ112,880円を寄付いたしました。

お知らせ

中・高等部の新校舎建設に伴い、和敬会館が取り壊される予定です。

2021年3月までは使用できますので、是非クラス会等に利用ください。